

《第16回 春の縄文野焼き祭り》

● 縄文野焼き祭りとは?

今年で8年目となる猪風来美術館恒例の『縄文野焼き祭り』では、館の陶芸教室生や法曾焼同好会員の作品を焼成。焼物の原点である縄文野焼きは、窯を使わずに天と地、太陽と風と火の力によって焼きあげます。生命と魂の躍動する独自の造形と縄文文様は現代の人々を魅了しています。

～春らんまんの野花と炎～

山は木々の新芽のやわらかな若草色、ピンクや白の花々で春のよそおい。野にもちいさな花が咲き乱れています。いのち輝く春に縄文野焼きの炎をかこんで、いのちの豊饒を願う縄文の心に触れてみませんか？ みなさんの自由な参加・見学お待ちしています。どうぞお誘い合わせのうえお越しください。

《大内清野 津軽古流三味線野外ライブ》

縄文野焼きの炎にのせて、津軽三味線のかなでる燃えさかる魂の旋律が法曾の春の野山に響きわたります。

□ 12時30分～（投げ銭・おひねりをお願いします）

津軽じょんがら節／十三の砂山／孫三郎節／津軽黒田節 ほか

大内清野（おおうちせいの）

青森出身。大学卒業後、ジャズベース奏者として活動。自らの音楽の源泉は故郷の津軽三味線である事に気付き、坊様（ぼさま）と呼ばれた盲目の門付芸人たちが創作した津軽独自の音曲と、その心を求めて全国を行脚。波乱満ちた生き様の坊様達の音を目指して精力的に演奏活動している。

《縄文体験コーナー》

● 縄文土器で煮炊きをしよう！

昔、縄文土器は煮炊き用の鍋として使われていました。土器を大地にすえて水と肉・野菜を入れ、そのまわりに薪をつんで燃やして汁物をつくります。みんなで野生的な味わいを堪能しよう！

□（12時頃～／無料）



● 粘土でつくろう！

縄文粘土で土偶やまが玉など、思い思いの発想であなただけの作品を。

□（随時／300円）

● 石でまが玉をつくろう！

まが玉は生命の根源のかたち。しあわせを祈り魔を祓う力が宿っています。

□（随時／黒・ピンク・白各500円）

《販売コーナー》

地元の法曾焼同好会が、昼食やお飲み物などを販売いたします。
どうぞご利用ください。

《いのりの土偶づくり》

先の東日本大震災の震災地への思いや気持ちをこめた「縄文いのりの土偶」づくりを、毎年有志の方々へ呼びかけております。再起を期して心を奮い立たせている被災者の皆様への応援の気持ちを土偶にこめて、思いをつなげていきたいと思います。

□（随時／300円）

※ 参加費は全額復興義援金として寄付いたします

※ 制作された「いのりの土偶」のご寄付をお願いします

■日時 2013年4月28日〔日〕午前9時～午後4時 ※雨天順延
■会場 猪風来美術館前広場
入場無料（館内は観覧料が必要です）
■主催 猪風来美術館（新見市法曾陶芸館）・法曾焼同好会
■お問い合わせ先 猪風来美術館 TEL・FAX 0867-75-2444
〒719-2552 岡山県新見市法曾 609




猪風来美術館
新見市法曾陶芸館
<http://www.ifurai.jp/>

■アクセス

岡山から車で約90分
岡山空港から車で約70分
賀陽ICから車で約45分
新見ICから車で約30分
井倉駅からタクシーで約15分
方谷駅からタクシーで約10分